

科目名	PBL：CreativeSchool基礎編（課題解決の考え方の考え方）
主担当教員	鶴田 宏樹
開講区分	第2クォーター
曜日・時限	火5
教室	眺望館1階Vルーム
授業のテーマ	<p>本授業は、問題の定義が不明確（悪定義）で、解決手段が不明確（悪構造）で、唯一最適解が存在するように設定されていない（悪設定）問題に対峙する際に必要な思考方法を習得し、新しい知を創造できる人を育成することを目指します。具体的には、論理的思考、システム思考、デザイン思考の3つの思考方法を習得し、グループワークを通じて思考方法を使いこなすことに挑戦してもらいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的思考 筋道の通った思考、つまりある文章や話が論証の形式（前提－結論、また主張－理由という枠組み）を整えていること。 ・デザイン思考 デザイナーがデザインをするときの思考で、「Empathize（共感）」「Define（問題定義）」「Ideate（創造）」「Prototype（試作）」「Test（試験）」の要素からなるとされる。 ・システム思考 物事を要素間の関係性（システム）として捉えること。狭義では、因果ループ図を指す。
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的思考について理解し、使いこなすことができる ・システム思考について理解し、使いこなすことができる ・デザイン思考について理解し、使いこなすことができる ・グループワークで他者とコミュニケーションが取れる
授業の概要と計画	<p>第1回：オリエンテーション イントロダクション 論理的思考（演繹と帰納、事実と解釈）</p> <p>第2回：アイスブレイク 論理的思考</p> <p>第3回：デザイン思考（ブレインストーミングと親和図法を使って）</p> <p>第4回：デザイン思考（強制連想法とプロトタイピングを使って）</p> <p>第5回：デザイン思考（ユースケースを使って）</p> <p>第6回：システム思考（要求機能分析とシステムアーキテクチャを使って）</p> <p>第7回：システム思考（因果ループ図と顧客価値連鎖分析を使って）</p> <p>第8回：思考プロセスデザイン（内容は変更することがあります。）</p>
学生へのメッセージ	<p>一人ではできないことも、仲間がいればできることがあります。文系理系関係なく協働することで生まれる多様性は、思考の幅を広げ、優れたアイデアにつながります。グループワークを通じて、多様な仲間をたくさんつくってください。この授業は、たくさんの学生と議論しながら一緒につくっています。自分たちは何を求めているのかを論理的に説明し、授業内容をデザインし、授業の価値を考えてくれる仲間を募集しています。</p>
今年度の工夫	<p>「考え方」の基盤となる知識を習得するためにグループワークをファシリテートする。</p> <p>議論・討論を通じて論理的思考を身につけさせる。</p> <p>メッセージの重点の確認、Q & Aセッションにおける双方向性コミュニケーションの促進に留意する。</p>
参考書・参考資料等	<p>Creative Confidence: Unleashing the Creative Potential Within Us All(David Kelley and Tom Kelley)William Collins 2013</p> <p>クリエイティブ・マインドセット 想像力・好奇心・勇気が目覚める驚異の思考法(デヴィッドケリーら)日経BP社 2014</p> <p>システム×デザイン思考で世界を変える 慶應SDM「イノベーションのつくり方」(前野隆司ら)日経BP社 2014</p>